

地域密着型サービス事業者 自己評価表

(認知症対応型共同生活介護事業所 ・ 小規模多機能型居宅介護事業所)

事業者名	ライフケア中央倶楽部	評価実施年月日	2007/7/9
評価実施構成員氏名	温泉晶・小林まゆか・佐藤敬子		
記録者氏名	温泉 晶	記録年月日	2007/7/9

北海道保健福祉部福祉局介護保険課

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>理念に基づく運営</p> <p>1. 理念の共有</p>			
1	<p>地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。</p>	<p>これまでの、理念から「共に生活し、暮らしを支え、命を守る」と言う理念に変更し地域密着型サービスの考えを職員間に徹底していく。</p>	
2	<p>理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。</p>	<p>職員採用の際は、理念の説明の時間を必ず作る。現行職員間では、1ヶ月ごとに理念の確認をしている。</p>	<p>1ヶ月ごとに理念の確認をしているが、1週間ごとの確認にしていきたい。</p>
3	<p>家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。</p>	<p>入所の際に理念についてよく説明している。又運営推進会議にて当ホームの理念について説明をしています。</p>	<p>直接住民の皆さんに理念について話ができる環境をつくっていきたい。</p>
<p>2. 地域との支えあい</p>			
4	<p>隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。</p>	<p>定期的に散歩や買物に出かけ近隣の住民の方と挨拶を交わすように心がけている。祭りなどの山車が通る時は、近所の方が教えてくれ場所も確保して下さる。</p>	<p>近隣の人が、もっと自由に顔を出してくれる環境を作っていきたい。現在散歩時には、ゴミ拾い・草むしりを実施中。これにより近所の方から声をかけられる機会ができた。</p>
5	<p>地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。</p>	<p>町内会には加入しているが、単独町内会での行事はあまりない。</p>	<p>連長での行事についても今後検討していきたい。</p>
6	<p>事業者の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。</p>	<p>ヘルパー2級等の実習生を向かえ実習の場を提供している。</p>	<p>地域の方へも私たちの知りうる知識を提供できる場を作っていきたい。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。</p>	自己評価等を全職員で検討し作るようにしている。	系列施設間の評価を職員間で実施予定。
8	<p>運営推進介護を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p>	会議では事業者報告をし、メンバーから意見・要望・質問を聞きホームの取り組みにいかしていく。又地域密着型サービスの観点からグループホームの話しにこだわらず地域の在宅者の方の問題等についても話し合いをしていく。	まだまだ、始めたばかりなので手探りな面もあるが、いい会議にしていきたい。
9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>	日常的な、市の職員の方とは連携はあまりとれていない。	今後検討。
10	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。</p>	必要な利用者様がいた場合、職員へも説明し利用者様への支援に結びつけている。	スタッフミーティングにて全職員へ制度の説明会を実施予定。
11	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがない要注意を払い、防止に努めている。</p>	ミーティングにて虐待防止法について話し合いをしている。	一度では、覚えきれないので何度か勉強会等に取り入れていきたい
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	契約・解約時には、重要事項説明書をもとに説明している。又契約時には家族の希望、要望等をよく聞き利用者様のケアに努めている。	

項目	取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
13 運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	利用者様から、意見、不満、苦情等があった場合は、全職員認識のもと解決に努めている。		
14 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている。	電話や手紙を出し家族の方に利用者様の様子をお知らせしている。又来訪時には写真や日報を見てもらい細かな様子をお話しています。		メールでのお知らせを現在検討中。
15 運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	家族会を結成していきたいが遠方の家族が多くなかなかできない。		
16 運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	月に2回会議をし職員の方の意見をよく聞き反映するよう努めている。		
17 柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。	利用者の方々生活を支えれるよう組しローテーションを組んでいる。		
18 職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。	異動や離職があった場合は、引継ぎに時間をかけ新しい職員が、利用者様と早く関係が保てるよう考慮している。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>中央区のグループホームでの勉強会に参加したり、外部研修に参加している。又社内研修をできる限りしている。</p>	<p>参加できなかったスタッフに、参加したスタッフが研修内容を発表したりしている。</p>
20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p>	<p>中央区に連絡会があり、その中で勉強会等を企画している。</p>	
21	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。</p>	<p>現場の責任者から話を聞き職員の悩み等を把握するよう努めている。又個室の休憩室を用意している。</p>	
22	<p>向上心をもって働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。</p>	<p>運営者もできるかぎり現場を訪れ利用者とは話しや職員の話しを聞くよう努めている。</p>	<p>時間のある時は現場に行くよう努めているが曜日を決めるなど定期的に訪問していきたい。</p>
. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>	<p>入所前に本人、ご家族から生活状況をよく聞き利用者様の情緒の安定に努めている。又他の利用者様と関係が、きづけるよう心がけている。</p>	
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>	<p>入所前に、ご家族からよく話を聞きご家族の希望、困っている事を把握しサービスの利用につなげるよう心がけている。</p>	

	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
25	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>相談があり現在ケアマネがついている場合は、ケアマネとよく相談し本人にとって一番いいサービスを検討するよう努めている。</p>		<p>ケアマネがいなく入所レベルでない方には居宅支援事業所を紹介し居宅のケアマネと相談できる環境を提供しています。</p>
26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。</p>	<p>まずご本人、ご家族に見学をお進めし場合によっては体験利用してもらうなどし関係を築くよう努めている。すぐ利用開始が始まった場合は、最初の2週間は、ご家族にできるかぎりホームへ来てもらい安心感を持ってもらうよう努めている。</p>		<p>ご家族が遠方で、なかなか来れない方には電話をかけてもらうなどしています。</p>
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。</p>	<p>支援する側される側という考えは持たず共に生活を楽しめるよう心がけている。</p>		
28	<p>本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>ご家族が、来訪しやすい環境作りを目指し日常会話が、気軽にできるような人間関係を築くよう心がけている。</p>		<p>遠方にお住まいのご家族の方との取り組みについて検討していきたい。</p>
29	<p>本人と家族のよりよい関係に向けた支援</p> <p>これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。</p>	<p>ご家族とご本人が外出・外泊する事をお進めしたり、施設行事にお誘いをするなどよりよい関係が築けるよう心がけている。</p>		<p>遠方にお住まいのご家族の方との取り組みについて検討していきたい。</p>
30	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>地域の知人等の方に来訪していただいたり又来訪しやすい環境作りに努めている。</p>		<p>他の区から来られた方はなかなか知人の方が来られることは少ないが、こちら側からお声をかけるなどして取り組んでいきたい。</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	レク・居間での談笑・食事など利用者様が交流する場合は、できるかぎり職員が中に入り孤立する利用者様がいないよう心がけている。		
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	サービスが終了した利用者様、ご家族とはその後の関係作りはあまりできていない。		サービス終了後も切れることのない関係作りを考えていきたい。
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日常生活の中で声をかけ、言葉・表情からご本人の意思を確認したり又意思疎通が難しい方は文字で会話したり、ご家族から話しを聞き情報を得るよう努めている。		
34	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入所前に、ご本人ご家族からこれまでの生活歴についてよく確認しケアに努めている。利用開始後もご本人との日常会話から生活歴を把握するよう心がけている。又ご家族来訪時にも以前の生活で気がついた事があれば率直に話を聞かせてもらっている。		
35	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	利用者様の生活のリズムを把握し、できる事をこれまで通りできるような環境作りを心がけている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	ご本人・ご家族からは、日常の関わりの中で要望や意見を聞き反映させるよう努めている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
37 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	入院後又日常生活においてADLの変化及び情緒の変化があった場合終了までもケアプランの見直しを行っている。		
38 個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	利用者様一人一人のファイルを用意し日常の暮らしの様子を記録している。又仕事始まり前には記録の確認を職員に義務付けている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	通院送迎等はご家族と話し合い柔軟に対応できるよう努めている。		グループホームの多機能化は、今後の課題として検討していく。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	利用者様が地域で安心して暮らせるよう民生委員の方の意見を聞いている。		
41 他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。	本人の希望により訪問理美容サービスを活用している。		理美容サービス以外のサービスについても今後検討していく。
42 地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。	運営推進会議に地域包括支援センターの方に参加していただき、情報交換できる環境になった。		今後更なる運動を検討していく。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
43 かかりつけ医の受診支援 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	ご本人・ご家族が希望する病院になっている。基本はご家族が通院の付き添いをするが無理な時は、職員が変りに付き添いをしている。又定期的に協力病院から往診を受けられるよう環境をととのえている。		
44 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。	ご家族の希望者には、物忘れ外来のある病院を紹介し職員が連れて行くケースもある。		物忘れ外来の先生との関係作りをしていく。
45 看護職との協働 事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	協力病院の看護師と契約し週1回程度ホームへ来てもらい日頃の健康管理や医療面での相談を行っている。		
46 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。	利用者様が入院した場合、医師とご家族、ホーム側が話しあいをできる場を持つように努めている。		入院中の関わりが少ないので今後検討していく。
47 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。	インセンドコム(終末期の重度化に伴う意思確認書)を作成しご家族へ説明している。		
48 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。	現在、終末期及び重度化した利用者様がいらない。		今後、終末期の利用者様が出てきた時は、担当医・ご家族・ホームの3者でよく話し合い連携していくよう努める。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>住替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>49 本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。</p>	<p>他の事業者へ移られる際は、情報提供書を提供している。</p>		<p>移られてからは、あまり関わっておらず今後検討していく。</p>
<p>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p>			
<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>50 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。</p>	<p>失禁によるオムツ変えや利用者様から相談等があった時は、他の利用者様のいない所で行うよう心がけている。又他のご家族や外来者に本人のプライバシーに関する話を話さないよう職員間で徹底している。</p>		
<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>51 本人が思いや記号を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援している。</p>	<p>意思表示の可能な方へは、声掛けをしなるべくご本人の意思で物事を決めるよう心がけている。意思表示が無理な方へは、文字にて会話をしたり、ご家族より確認して決めるよう努めています。</p>		
<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>52 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。</p>	<p>ご本人が、散歩等に行きたい時はできるかぎり優先させてあげるよう心がけている。どうしても難しい時には、よく説明し時間をずらしてもらっている。</p>		<p>なるべく希望をかなえられるよう職員ローテーションを調整していく。</p>
<p>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>			
<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>53 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。</p>	<p>着替えは、基本的にご本人の意思で行ってもらい、自己決定が無理な方へは職員がご本人希望を聞き支援する。又馴染みの理美容を希望される方は支援し、訪問理美容を希望される方は調整を行う。</p>		
<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>54 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている。</p>	<p>メニューは、利用者の意見を聞き決定している。又食事利用者職員が一緒にテーブルにつき会話をしながら楽しい食事ができるよう支援している。できる方には食事の準備及び後片付けを一緒に行えるよう支援している。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
55 本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	利用者様の嗜好品を理解し一緒に買物に出かけたりしている。又晩酌の希望の方へは晩酌できる環境を心がけている。タバコは、決められた場所で吸ってもらうようにしている。		
56 気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	基本的に排泄自立の方へは見守りをし、困難な方へは時間を見計らって声がけにて誘導するよう努めている。		
57 入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	基本的な入浴日はあるが、けしてこだわらず利用者様の考えで違う日・時間の入浴にも対応している。		
58 安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	日中の活動を促し生活リズムを整えるよう心がけています。夜のコーヒー等のカフェイン系の飲み物はなるべく摂取しないよう支援しています。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59 役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	お一人お一人の状態を把握し、お願いできそうな仕事を頼み「ありがとう」の言葉を職員に徹底している。又時には遠出のレクを企画し支援している。		
60 お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	基本的に金銭はご自分で管理していただいております。希望者には、施設にてお預かりしています。その際は金銭預り書を交わしています。買物の時は、自分で会計をしてもらい、お金の感覚をいつまでも保てるよう支援する。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	夏場は特に散歩や買物の機会を作り外に出るよう支援している。又ドライブや外食の企画を提案し実行している。		冬場は、夏場に比べ外出する機会が少なくなるので今後検討していきたい。
62	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。	本人の希望を聞きご家族協力の下企画している。		なかなか職員をはりつけるのが難しいがよく検討していきたい。
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	電話を使いたい方には、自由に使って頂けるよう支援している。電話機も常時使わない職員休憩室に設備しプライバシーにも気をつけています。手紙等は、書ける方には、便箋を用意してご自分で書いてもらい、かけない方には、声で文章を言ってもらい代筆支援をしている。		
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	訪問時間は、決めておらずいつでも対応できる環境を心がけている。		
(4) 安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束についての勉強会を開いたり全職員の意識を統一するよう努めている。		
66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	日中は、鍵をかけず自由に生活できるよう支援しています。お一人で外に出る時は大声をかけずさりげない声がけをするよう心がけています。又玄関の見守りは全職員共通のもと意識的に見守りをしています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
67 利用者の安全確認 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。	記録業務は、利用者様が見える場所で行い状況把握できる環境で行っている。又夜は何時間かごとに見回りをし安全に努めている。		
68 注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。	刃物などの危険なものは、夜間は職員が管理し日中は、決められた場所に置き利用者様が見守りのもと使えるよう心がけている。		
69 事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。	転倒、窒息、防止のため見守りの強化。行方不明対策として外出時のネーム着用。火事防止のため決められた場所での喫煙及び防災素材の活用。		消防等協力のもと危険対策の研修への参加等
70 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。	職員研修で勉強会を開催している。		今後、定期的な勉強会の検討及び消防等の協力のもと研修会の検討。
71 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。	年に2回避難訓練を実施し職員に徹底している。		今後、消防所の協力のもと勉強会等を検討していきたい。
72 リスク対応に関する家族との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている。	自由な生活を基本にすることによりおこるリスクをご家族に説明している。又職員一人一人が見守りによるリスク回避を念頭に入れ支援している。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
73 体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。	日常生活の中で利用者の異変を感じたときは、記録に残し、管理者等へすぐ連絡することを徹底している。又緊急時には、速やかに医療受診につなげている。		
74 服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	薬は利用者様個々のケースを作り保管している。又処方箋を個別ファイルに保管し職員が内容を把握できるようにしている。		
75 便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かさず働きかけに取り組んでいる。	メニューに、意識的に繊維質のものを取り入れるよう心がけている。乳製品を適度に利用者様にお出しするようにしている。又散歩等身体を動かす機会を設けて排便できるよう心がけている。便秘が続くようであれば医療受診につなげている。		
76 口腔内の清潔保持 口の中の汚れやおいが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。	毎食後の歯磨きの声かけを行い口腔内の清潔保持に努めている。又口腔ケアの勉強会をしている。		口腔ケアの勉強会を定期的に検討。
77 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	食事の摂取量、水分摂取を記録しおおまかに職員は把握している。栄養についての勉強会を行っている。		勉強会を今後も進めていく又管理栄養士等専門の方協力のもと勉強会を検討。
78 感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症予防マニュアルを作り全職員に徹底している。又インフルエンザ予防注射は全職員徹底しています。利用者様もご家族、本人に同意をへて接種をしています。施設内に消毒液を設置し予防に努めています。		
79 食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。	台所及び台所用品は毎晩清掃し衛生を心がけています。食材の残りは鮮度状態を毎日確認し冷凍したり処分している。冷蔵庫内の点検を1日1回行っています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり			
(1) 居心地のよい環境づくり			
80	<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫</p> <p>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。</p>		
81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>		
82	<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>		今後、スペースを考慮しながら検討していきたい。
83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>		
84	<p>換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。</p>		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	<p>身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>86</p> <p>わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。</p>	<p>利用者様一人一人の状態を職員で話し合い混乱や失敗をなくし自立して生活できるよう職員間で心がけています。</p>		
<p>87</p> <p>建物の外回りや空間の活用 建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。</p>	<p>玄関前に花壇を設置し利用者様と一緒に花の世話をしています。又ベンチにて日向ぼっこができる環境に努めています。</p>		

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている	ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族 家族の2 / 3くらい 家族の1 / 3くらい ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない

. サービスの成果に関する項目		
	項目	取り組みの成果
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない
98	職員は、生き生きと働いている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどいない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載)
 利用者様が家庭にいるのと変わらない環境作りを目指し、決りごとやルールをできるだけなくし、自由に生活していただけるよう日々努めております。又介護する側される側と言う意識をなくし共に生活していくことが、今後のホームのあり方だと考え努めております。(利用者様が気兼ねなく、職員等に相談や悩み事を言える環